

2022年9月26日 第86回運輸政策セミナー

交通サイバーセキュリティ

～安全保障環境の変化やDXの進展等を踏まえた経営層の役割～

佐藤理事長 閉会挨拶

運輸総合研究所理事長の佐藤です。お疲れのところ恐縮ですが、閉会に当たり一言申し上げます。

まず、ご登壇いただいたサイバーディフェンス研究所の名和専務理事、国交省の高杉サイバーセキュリティ・情報化審議官、デンソーの平永製品セキュリティ室長、資生堂の斉藤情報セキュリティ部長、情報セキュリティ大学院大学の後藤学長、長時間にわたりご参加いただいた大勢の視聴者の皆様、そして日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

このうち名和専務理事と後藤学長には、2021年11月に当研究所が開催した第79回運輸政策セミナー「交通サイバーセキュリティ～DXが進展する企業経営への新たな脅威とリスクコントロール～」にもご登壇いただき、また、名和専務理事には、この第79回運輸政策セミナーを契機として当研究所が発行することとした「運輸総研サイバーセキュリティ通信」の執筆・監修を担っていただいております。改めて、心より御礼を申し上げます。

さて、運輸総研と交通サイバーセキュリティとの関わりは、今から7年以上前まで遡ります。2015年5月に、東京オリンピック・パラリンピックを控えて、サイバー攻撃対策の強化が大きな課題とされ、政府のサイバーセキュリティ戦略本部における検討が本格化しましたが、これと軌を一にして、運輸総研では「交通分野のサイバーセキュリティに関する調査」を開始し、2019年度まで継続いたしました。

この5年間にわたる調査研究の成果を「世の中の役に立てる」べく、運輸総研では、2020年2月と3月に「交通分野のサイバーセキュリティ対策における監査役及び経営層の役割」をテーマとするセミナーを開催するとともに、先に触れました2021年11月の第79回運輸政策セミナーと今回の第86回運輸政策セミナーの開催に至ったわけであります。

さる9月7日にも、親ロシア派のハッカー集団が東京メトロ・大阪メトロにサイバー攻撃を仕掛けたとの報道がありましたが、サイバー攻撃は、安全保障環境の変化やDXの進展に伴い、交通事業者の事業経営にとって、ますます大きな脅威となっています。私ども運輸総研は、「学術研究と実務的要請の橋渡し」役として、今後とも、交通サイバーセキュリティについて、本日のようなセミナーや「運輸総研サイバーセキュリティ通信」を活用して、皆様と共に考察を深めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私からは以上です。この後、今後の予定のお知らせがあります。また、アンケートへのご協力も、よろしくお願いいたします。

本日は、最後までご参加いただき、誠にありがとうございました。